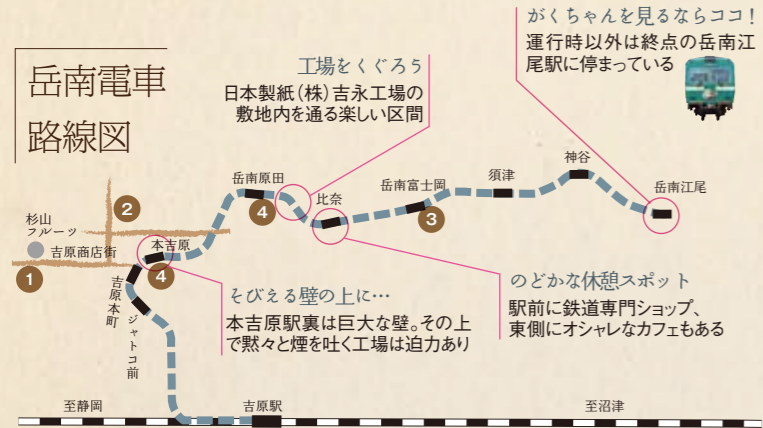


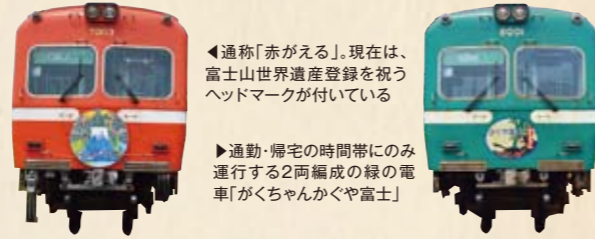
# のんびりローカル線の旅

車窓から見えるのは、昔ながらの住宅に工場、ひらけた緑。  
何にもなくてどこか懐かしい風景を眺めながら、気ままなぶらり旅に出かけよう。



## 車両はこの2つ

車両は橙色の7000形と、緑色の8000形の2種類。  
ワンマンの単線鉄道のため、車両前後に運転席がある。



◀通称「赤がえる」。現在は、富士山世界遺産登録を祝うヘッドマークが付いている

▶通勤・帰宅の時間帯にのみ運行する2両編成の緑の電車「がくちゃんかくや富士」

## 切符は昔ながらの硬券

硬い画用紙のような風合いある硬券切符。  
一日の思い出にとっておこう。



◀背景に富士山が印刷された乗車券150円～

◀1日乗り放題の「全線1日フリー乗車券」400円は土日祝限定



▲牛すじのトマト煮込みに特注麺をつける「つけナポリタン」830円



▲柚子こしょうの乗った、ぐの「リソット用おにぎり」100円



◀「コッペパン(ジャム)(ピーナッツ)」各160円  
種類豊富なコッペパンの中身と飽きのこない味に、ファンも多い



**1 cafe sofarii ソファリ**  
0545-51-3555  
富士市吉原2-3-19  
11:30～OS22:00、金・土曜～OS23:00  
不定休  
吉原本町駅より徒歩8分  
都内に4店舗出店している富士市発のカフェ



**2 日東ベーカリー にっとうベーカリー**  
0545-51-1277  
富士市今泉1-12-12  
9:00～19:00/日曜休  
本吉原駅から徒歩5分  
昭和10年創業。名物のコッペパンはドイツの石釜で焼き、中身はその場で塗ってくれる。



**4 工場夜景**  
本吉原駅(右)や岳南原田駅(左)からは、工場夜景を眺めることも。静かな夜に活動するさまに、萌える?



**3 富士岡車庫**  
岳南富士岡駅にはED501やED403など機関車も含め5台が静かに行んでいる



▲「ペーパーキット」(7000形/橙)200円、(8000形/緑 ※2両)400円  
所要時間3.40分ながらバンダグラフも立ち上がる細かな作り



▲「岳南電茶(橙)和紅茶(緑/緑茶)」各630円  
富士市産の茶葉を使用したティーバック10袋入り



▶「LEDライト付きボールペン(全4色)」200円  
ざりげなく、鉄道好きをアピールできるボールペン

## 岳南電車グッズ

岳南電車 吉原駅で販売している  
岳南電車の公式グッズたち

JR吉原駅で降り、ホーム西側の階段を上ると現れるのは、もう1つの吉原駅。ここから伸びる片道約20分、全長9.2kmの単線鉄道「岳南電車」は、戦前に敷設された日産の専用鉄道を利用し、線路を延長して昭和28年に全線開通した歴史ある路線。その名を変えた今も、旧名「岳鉄(岳南鉄道)」の名で親しまれている。

まず切符を買い、電車に乗り込むと、ドア横に整理券のボックス、車両前後に運賃箱を発見。バスのようなそれらは、無人駅が多い岳鉄ならではの。無人駅で乗る時に整理券を取り、降りる時に運賃箱に入れて精算する仕組みだ。注目は原田駅～比奈駅間。工場の敷地内を通り抜けながら走る風景は、見応え十分。ミアでなくとも、いざ最前列に陣取って、運転席越しの風景を堪能したい。途中下車で味わうご当地グルメや老舗の味、吉原本町駅のレトロな駅舎や昭和初期の機関車がある富士岡駅をめぐる、鉄旅、もいい。全駅から見える富士山ビューもお見逃しなく。

## おとなの遠足 なつかし列車で出かけよう 岳鉄でGO!

JR吉原駅のホームを渡ると、どこか懐かしい駅舎と電車。片道約20分の岳南電車に揺られながら、のんびり途中下車を楽しもう。

- 1 無人駅の風景はどこかノスタルジック
- 2 工場地帯を通り抜ける原田～比奈間
- 3 年季の入った機械類が並ぶ運転席
- 4 比奈駅前にある鉄道ショップ「フジ・ドリームスタジオ501」。店内には鉄道ジオラマも
- 5 ワンマン列車のため、無人駅から乗るときは整理券を取るのを忘れなく
- 6 レンタサイクル「岳チャリ」。吉原駅にて先着5台、1台500円でレンタルできる
- 7 ファミレスの駐車場から入る斬新な本吉原駅



**「おとなの遠足」がTVになりました!!** トコちゃんねる静岡(リモコン12ch)にて、第2-4週 月～金 21:30ほか 好評放送中!